

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	情和園リハビリテーションデイサービス みもぎ
------	---------------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成30年1月17日

③事業者情報

名 称： 情和園リハビリテーションデイサービスみもぞ	種 別：通所介護
代表者氏名：理事長 土師壽三	定員（利用人数）30名
所在地：〒879-5404 由布市庄内町櫟木982	
TEL：097-582-0880	

④総評

◇評価の高い点

- ・理念や基本方針に沿って、日々の支援の中で活かされており、利用者に笑顔や穏やかさがある。
- ・利用者の意向や潜在能力を上手く活用し、自立を損なわないケアを実践している。
- ・福祉サービスの質の向上へ向け、組織的に取り組みが行われ、第三者評価を定期的に受審している。
- ・管理者のリーダーシップのもとで人材育成が行われ、介護技術や知識・リハビリなどに於いても利用者個々の潜在能力を活かした取り組みが行われている。
- ・福祉人材の育成がなされ、奨学金制度を設けている。また、職員の定着率も高く、働きながら資格取得に向けて職員が生き生きと働いている。
- ・運営の透明性として、定期的に発行する広報誌や職員会議・家族会などで知らせている。
- ・地域住民との触れ合いの場を多く持ち、まつりごとや地域との交流のイベントなど地域貢献が積極的に行われている。
- ・広報誌を年4回発行して地元のスーパーへの掲示や新聞に折り込みを行いサービスの内容などの情報を積極的に発信している。
- ・送迎やレクリエーション内容、入浴や食事へのサービス内容、機能訓練についてなどの意向調査を年一回行っている。収集された結果に基づいて検討会議を行い改善が図られており、満足度向上に向けての取り組みに余念がない。
- ・緊急時対応マニュアルが整備されており、事故報告書は発生者が作成し、重大事故は即日に検討会議が行われている。あんしん対策レポートは状況や事故発生の原因など詳細に記録され、リスクマネジメント委員会が集計を行っている。
- ・入浴や排泄、食事など各サービスの実施内容についてのマニュアルが整備されており、初任者研修を受けて入社するなど質の確保に余念がない。

また、何を指導したかについてのチェックシートが活用されており、日頃のサービスの確認が行われている。

- ・アセスメントにより利用者の生活状況の把握を行い、マット体操など個別性のある対応を行っている。また、買い物支援などを行い社会参加へのプログラムも導入している。

- ・難聴の方には筆談、全盲の方には配置の声掛け、理解力が低下した方には状況に応じたゼスチャーなどで個別性のあるコミュニケーションを図っている。

- ・入浴サービス手順を整備しており、利用者の状態に応じた入浴方法が行えるよう設備を整えている。入浴前は看護師によりバイタルチェックが行われ、体調に応じて清拭に移行するなど清潔保持が行われている。入浴後は水分摂取を促すため、利用者の好みを選択できるなど工夫が行われている。

- ・排泄介助は方法などが共有されており、声掛けの回数や見守りの程度は利用者の状況に応じて実施されている。家庭での介助方法についても家族への情報提供や指導が行われている。また、車いすでも利用がしやすいように、仕切りをなくし柔軟に設備を変更している。

- ・好きな料理や苦手な料理など年一回の嗜好調査のほか、随時口頭での聞き取りが行われており、給食会議で検討が行われ献立に反映されている。また、メニューの残り物を確認して聞き取ることでできない好みにも対応できるように工夫を行っている。

- ・アセスメントに基づいて一口大や細かい刻みに対応しており、急な体調不良時にもお粥に変更するなど柔軟に食事形態を変えて食べやすいように配慮がなされている。また、スプーンの形ややすいやすい皿などを活用して自力で摂取できるように福祉用具を活用している。

- ・認知症の理解を深めるために法人内の学習会や外部の研修を積極的に行っており、最新の知識や対応技術を高めるための職員への研鑽に余念がない。

- ・利用者が排泄場所が分からず迷わないようにトイレの張り紙をしている。また、危険物は利用者が入らないスペースに保管をしており、安全性にも配慮されている。

- ・日常生活での危険要因の高い転倒を防止するため下肢筋力の向上やバランス機能の向上を目指して、利用者の意向に沿ってストレッチ体操やリズム体操を取り入れて機能低下の予防や転倒リスク軽減に力を入れている。

- ・利用者にはサービス提供時にバイタルチェックを行い体調を確認している。体調不良時には介護支援専門員や家族に連絡を行い適切に対応している。ステーションや送迎の車両にも利用者や医療機関の連絡先一覧を携帯しており早急に対応ができる体制を整備している。

- ・感染対策のマニュアルを整備しており、時期に合った感染症に関する研修を行い感染対策を行っている。感染症予防のため、フロア内に手洗い場を設置しており、口腔ケアと手洗いの洗面台など使用意図を分けて感染症や食中毒の感染予防を徹底

している。

・トイレ内の介助スペースのための改修や設備の点検、福祉用具の異常時の対応など専門の営繕担当が早急に対応している。テーブルのほか畳で過ごすことができるスペースも確保しており、利用者の思いおもいの時間が過ごせるように工夫されている。

・日頃の送迎時に家族との情報交換のほか、利用者のサービス内容の提供としてみもぎ新聞（年4回）を発行している。また、担当者会議などを通じて介護支援専門員とも連携を図り利用者や家族の状況を把握している。

◇改善を求められる点

特になし

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

当事業所は、利用者の意向に沿って、主にストレッチ体操や手作業を取り入れ、機能低下の予防に努めています。

受審するに当たり、調査報告書に沿って「福祉サービスの基本方針と組織、組織の運営管理、適切な福祉サービスの実施」等について自己評価を行いました。

自己評価については、管理者を中心として全職員で会議を開催、各項目ごとに内容について協議、確認を行いながら作成しました。

その結果、職員各自がデイサービスの重要性、業務に対し取り組む自覚等サービス全般について認識を深めることができ、大変有意義な受審でありました。

今後ともよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）